

三豊市の花と木 決まる！

応募状況
花

市花	応募数
マーガレット	255
桜	39
コスモス	35
菊	11
ひまわり(向日葵)	10
すいせん	9
つつじ	6
ぼたん	6
菜の花	3
オリーブ	2
きんせんか	2
皇帝ダリア	2
チューリップ	2
パンジー	2
ハナミズキ	2
みかん(柑橘)	2
梅	1
クリスマスローズ	1
クちなシ	1
こぶし横	1
山桜	1
さざんか	1
サツキ	1
タンポポ(蒲公英)	1
ダリア	1
茶の花	1
パンジー・デイズ	1
ばら	1
花菖蒲	1
フジ	1
な花	1
ふよう	1
桃	1
鯉梅	1
マリーゴールド	1
あけび	1
れんぎょう	1
沈丁花	1
カーネーション	1
花の応募なし	3
計	414

※2案応募…1件



シンボルフラワー

マーガレット

〈決定ポイント〉

日本一の生産量を誇り、全国に向けて三豊市をPRしていける花である。
また、落ちない花として広く知られ、縁起のいい花であるから。

北は瀬戸内海、南は讃岐山脈という地形に恵まれ、自然豊かで四季折々の表情が楽しめる三豊市。そのシンボルにふさわしい花と木が決まりました。今回は、市民の皆さんに今まで以上に「マーガレット」と「桜」に親しんでもらおうと、マーガレットの魅力や市内の桜スポットを紹介します。

応募状況
木

市木	応募数
桜	125
茶	61
松	45
楠(大楠)	26
キンモクセイ	21
みかん	17
梅	15
ハナミズキ	15
鯉梅	7
もっこく	6
イチヨウ	5
竹	5
オリーブ	5
椿	3
木蓮	3
クロガネモチ	3
タブノキ・タブ	3
もみじ	3
ケヤキ	2
山茶花	2
桧	2
桃	2
ヤマモモ(楊梅)	2
ウバメガシ(バベ)	2
アボカド	1
イタヤカエデ	1
黄梅	1
観音竹	1
紅梅	1
高野槇	1
サツキ	1
サルスベリ(百日紅)	1
ジャクナゲ(石南花)	1
スギヒノキ	1
南天	1
ヒイラギ	1
藤	1
もち	1
柳	1
山桜	1
ローリエ	1
ドングリ	1
陽光桜	1
マキ	1
樺(くぬぎ)	1
ビワ	1
木の応募なし	15
計	417

※2案応募…4件



シンボルツリー

〈決定ポイント〉

市内各地に桜の名所があり、公園などにも多く植えられ、身近な木として親しまれている。
また、春には人が集い、心を明るく豊かにしてくれるから。



桜は3割
マーガレットは6割
の人が支持

応募者数413人。2月1日、28日まで市のイメージにふさわしい「花」と「木」を募集したところ、たくさんの方の応募がありました(応募状況参照)。

それぞれの応募数のトップが、今回選ばれた「マーガレット」と「桜」でしたが、桜は全体の3割、マーガレットにおいては、実に6割を占める結果となりました。

市では、花と木の選定にあたり、1月に選考委員会を設置。10人の委員が募集や選考方法、最終決定まで計3回にわたり、議論を重ねてきました。

3月28日、選考委員会の成行委員長が、横山市長に決定を報告し、4月1日に市花および市木を制定する告示を行いました。

市のシンボルに決まった「マーガレット」と「桜」は、市のPRに広く活用するとともに、市民の皆さんに愛着を持ってもらえるよう、白やピンクをイメージカラーとしても活用していきます。

多くの人に知ってもらい
活性化につながれば

選考委員会の委員長を務めた成行公雄さんに、話を伺いました。



花と木選考委員会
委員長 成行 公雄さん

「市の花と木は、市外から見ても三豊をイメージできるものにしようと委員会を決めました。また、募集は、若い世代の意見も聞きたいということで、対象の幅を広げることにしました。結果、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層から応募をいただき、ありがたく思っています。応募した理由も読みましたが、皆さん一人ひとりの思いがとても伝わるものでした。

マーガレットについては、三豊花卉部会やフラワーパーク浦島を管理・運営する皆さんのこれまでの活動が、三豊の花としての認識を高めたんだと感じています。

今後は、市の花はマーガレット、木は桜という思いを市民の皆さんが共有し、地域の活性化につながればと思います」



花どころ三豊から全国へ

魅力満開！三豊のマーガレット

生産量日本一
全国シェア6割

「真実の愛」という花言葉を持ち、恋占いに用いる花として愛され続けるマーガレット。

マーガレットは、アフリカ大陸北西部カナリア諸島が原産地のキク科の多年草です。日本には明治時代に伝わり、大正時代から栽培が盛んになったといわれています。その日本一の産地が、ここ三豊市です。詫間町・仁尾町を中心に栽培され、年間生産量は約300万本。全国シェアの約6割を誇っています。空輸出荷ができるようになり、関西を中心に、北は東北南は沖縄にまで三豊のマーガレットは届けられ、その美しさを全国に発信しています。

三豊のマーガレットの特徴は、茎がピンと立ち、花やつぼみの付き方のバランスがよいこと。

在来と呼ばれる白を中心に、ピンクや黄色など、色鮮やかなマーガレットが全国へ出荷され、花束やフラワーアレンジメントにとても人気です。

5月ごろから植え付けたマーガレットは、10月から翌年5月ごろまで出荷されます。

花＋海＋島 この絶景は格別！
色とりどりの花がお出迎え フラワーパーク浦島

マーガレットを中心にキンセンカ、コスモスなど四季を彩る花が一面に咲き誇る「フラワーパーク浦島」。瀬戸内海や粟島・志々島を見渡せるロケーションもあり、多くの家族連れやカメラマンでにぎわいます。

その花畑の維持管理を行うのが「美咲クラブ」の皆さんです。

「色鮮やかな花が訪れる皆さんをお迎えし、楽しいひとときを過ごしてもらおうと、花の植え付けや土作り、草刈りなどを行っています」と穏やかな瀬戸内海を望みながら話す横井雅章さん。



美咲クラブ代表
横井 雅章さん

「マーガレットが市の花に選ばれたことはうれしいですね。フラワーパークもマーガレットが中心で、5月には真っ白いじゅうたんのように咲き誇りますよ。花と海

島が織り成す景色は格別ですね」
子どもたちに
花を知ってもらいたい

詫間町内の子どもたちは、毎年花植え体験を行います。県内一の花どころだからこそ、地元の子どもたちに花を知り、身近に感じてほしいとの思いからです。その花を大切に育てているのも美咲クラブの皆さんです。

「自然を相手にしよるから、育てるのは大変やけど、子どもたちの笑顔や喜ぶ声が楽しみやし、それが私たちの原動力ですからね。喜んでもらうために1年の作業があるんよね」

純白の花畑で
花摘み体験を

はさみを片手にマーガレットやキンセンカ、ポピーなどが摘める恒例の花摘みイベント。県外からも多くの人が足を運びます。今年は5月11日（日）。今日も笑顔を咲かす活動が続きます。

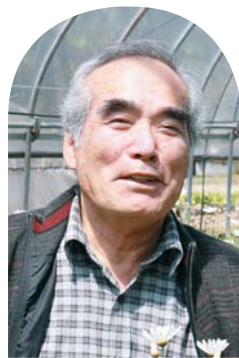
日本一を守り続け 三豊を花の楽園に

「花持ちがいいので、上手に育てると1カ月は可憐なマーガレットを楽しむことができますよ」と話すJA香川県三豊花弁部会の秋山宰毅部会長。「付いたつぼみがすべて開花し、花びらが落ちないことから、縁起のいい花としてとても人気があるんですよ」とマーガレットの魅力を話してくれました。

他県と連携し
魅力を全国に発信

三豊花弁部会には5つの部会があり、マーガレット部会には60件の農家が所属。約8畝の耕地で愛情込めて育て上げたマーガレットを全国に出荷しています。

三豊花弁部会は、平成24年9月



JA 香川県三豊花弁部会
部会長 秋山 宰毅さん

に生産量2位の静岡県JA伊豆太陽マーガレット部会と販売促進に関する協定を締結しました。

「協定により、出荷量は両県合わせて全国の8割を占めることになりました。マーガレットが見ごろを過ぎても散らないことから「落ちない花」として、私たちは関西エリアで、伊豆太陽の皆さんは関東

エリアで、受験生に向けて共同でPRしています。ほかにも、お互いが持つノウハウを出し合って品質向上などに努めています」



▲共同で、受験生に向けたしおりを作成

“落ちない花”で
受験生を応援

4年前からは、“落ちない花”、

「合格マーガレット」として受験を控える中学生に花束をプレゼントしています。



「日本一の生産量を誇るものが市内にあるということを知ってもらいたいという思いもあり、最初は詫間と仁尾の中学校でマーガレットを贈り、2年目からは市内の全中学校に広げました。学問の神様として知られる天満宮で合格絵馬を奉納し、祈とうした紅白のマーガレットとお礼を受験生に渡ししています。受験生からは『縁起のいい花をもらい、励みになります、合格できるよう頑張ります』という力強い言葉をもらっています。とてもうれしいことです」と笑顔で話す秋山さん。愛情込めて育てたマーガレットに、合格の願いを添えて、頑張る受験生を応援しています。

生産農家の減少という
厳しい現実

平成25年11月には横山市長と大

市の花としての
責任感を持つて

「市の花に選ばれたことは非常にありがたいですね。市の花としての責任感を忘れず、まずは、生産量日本一を維持すること。そして、各種団体と連携しながら工夫を重ね、どんどんマーガレットをPRしていきたいですね。」

市の花に恥ずかしいよう、高品質を保ち続け、親しまれるものにしていきます。日本一を守り続け、マーガレットだけでなく、ほかの花と一緒に三豊を「花の楽園」にしたいですね」

「市の花に選ばれたことは非常にありがたいですね。市の花としての責任感を忘れず、まずは、生産量日本一を維持すること。そして、各種団体と連携しながら工夫を重ね、どんどんマーガレットをPRしていきたいですね。」

にし
西野近隣公園
ブランコやすべり台、ジャ
ングルジムがあり、子ども
も大人も楽しめる公園です。



とがわ
戸川ダム
豊かな清水を蓄える戸川ダム。
宵闇に浮かび上がった満開の
桜が水面に映り込み、幻想的
なムードを醸し出します。



あさひやま
朝日山森林公園
約 2000 本の桜が空を埋め尽
くすほど咲き誇ります。山頂
付近まで途切れることなく続
く桜並木は圧巻です。



しうでやま
紫雲出山
約 1000 本の桜が浦島伝説の地を彩
る絶景スポット。瀬戸内の多島美
と澄んだ空と海、青とピンクのみ
ごとなコントラストを楽しむこと
ができます。

桜がズラリ 三豊を彩る

「三豊を桜の楽園に」
「これまでに3万本を超える桜を植樹してきました」と話す香川さくらの会吉田宏基会長。花と緑の美しいふるさとづくりを目指し、平成2年に設立した当会は、桜の植樹や普及活動を行っています。市内でも、平成23年に宗吉瓦窯跡史跡公園で、地域の皆さんと桜を植樹しました。

「三豊市には桜のみごとな所がたくさん。三豊は桜を愛でる人が多いからだと思いますよ」。県外にも足を運び、数多くの桜の名所を見てきた吉田さん。それでも三豊市にはすばらしい所が数多くあると言います。

「さくらの会では、以前に香川の桜100選を選定し、三豊市からは、12カ所が選ばれました。駐車場などの関係で残念ながら選定されませんが、ほかにもたくさんいい所があります」



多くの皆さんが、マーガレットと桜を愛し、誇りを持って、今日も活動を続けています。それが咲き誇り、三豊に一体感を。皆さんと一緒に三豊を花の楽園にしませんか。

香川さくらの会は、日本宝くじ協会の助成を受けて、桜の若木を無償で配布しています。

「平成25年度は、19団体に1,950本の若木を配布しました。三豊では2団体から申請していただきましたよ。私たちは配布だけでなく、事前に植栽方法などの講習会を開催しています。植えた後の相談にも応じます。今年度も5、6月に希望者を募集しますので、ぜひ、利用してほしいと思います」

桜は日本人の心のふるさとと語る吉田さん。桜で明るいまちづくりを目指し、活動しています。



香川さくらの会
会長 吉田 宏基さん



はっこうざん
八絃山
山頂からは仁尾の町並みや鳶島などを眺めることができ、春の爽やかな風を感じながら、桜を満喫できます。